



Subaru

男声合唱団

ニュース№580

16. 9. 17

大阪のうたごえ合発へ「白樺」「わしらの朝・」最終チェックのレッスン！

9月16日

□ 9月16日(金)18:00~20:30ねむかホールで昇定例レッスンが行われました。奥村さんの体操・千秋さんのヴォイストレーニングのあと、2日後に控える18日(日)の「おおさかのうたごえ合唱発表会」(LICはびきの)に向けて、本並先生の指揮で「白樺」「わしらの朝は海からはじまる」の2曲の最終のレッスンとなりました。11日(日)にほぼ仕上がった合唱を前提に、前回欠席されたメンバーも出席した今回のレッスンはほぼ全員出席の集中力と熱のこもったレッスンとなりました。指揮者の本並先生は、団員に対し、毎回のレッスンで指摘し歌ってきたフレーズを何度も歌わせ、時には歌い方について、団員に問いかけ、納得のいくまで最後の仕上げに時間をかけて指揮されました。ピアノ伴奏は西應静さん。参加者は全35名でした。



「白樺」は反戦歌！ (資料「白樺」について)

「白樺」は”大戦“のこれまでのすべての歴史を見てきた！もうお互いに殺しあうのはやめよう！平和のために生きていこう！！

ロシア歌曲「白樺」

1959年のソ連映画「平和の始めの日」の挿入歌。日本では国立モスクワ合唱団が来日時に取り上げるなどして有名になった。(ライヴ録音がNHKの「立体音楽堂」で放送され、のちにLPで発売)。映画はYouTube上で全編を見ることができる(字幕なし)。

「白樺」(Б е р е з ы)

マルク・グリゴリエヴィッチ・フラトキン(1914 - 1990)作曲、ヴィクトル・ラザレフ(?)作詞の抒情溢れるこの曲は、1959年政策の映画「平和の始めの日」の挿入歌として創作された。

「平和の始めの日」は、1945年5月9日、侵攻したドイツの小さな町で終戦を迎えたソ連軍人たちのまわりで起きる1日の出来事を描いたもので、既に西から進行してきたアメリカ軍との交流や、終戦間近に死んだ兵士たちへの憐憫、繊細で生活の糧を失ったドイツ市民との出会いが織り込まれています。戦争のない頃、外国へ出ることのなかった普通のロシア人たちが、異国で味わう望郷の念と戦争を超えた感慨を歌い込んでいるのが「白樺」です。この曲も、ロシアの他の映画挿入曲と同様、映画よりも曲の方が広く受け入れられ、知られるようになっています。

映画の中では、戦時中に作られた名曲「偶然のワルツ」(1943)の演奏と舞踏シーンも出てきます。

埋め込み映像は、1984年にソ連陸軍アレクサンドロフ記念アンサンブルが演奏した際のもので、バリトンがウラディミール・ペトローヴィッチ・マイストルク、テノールがヴァシリー・イヴァーノヴィッチ・シュテツツァです。ふたりとも、今もロシア陸軍アレクサンドロフ記念アカデミー・アンサンブルで活躍中です。

白樺 (直訳例1)

Музыка: М. Фрадкин

フラトキン作曲

Слова: В. Лазарев

ラザレフ作詞

Я трогаю русые косы,

僕は亜麻色のお下げに触れ

Ловлю твой задумчивый взгляд.

物憂げな君の眼差しをとらえる

Над нами весь вечер березы

僕たちの上で一晩中白樺が

О чем-то чуть слышно шумят.

何かざわめいているのが聞こえる

Березы, березы,

白樺よ、白樺よ

Родные березы не спят

祖国の白樺は眠らず

Быть может, они напевают

ひょっとしたら歌っているのか

Знакомую песню весны,

聞いたことのある春の歌を

Быть может, они вспоминают

ひょっとしたら思い出しているのか

Суровые годы войны?

過酷な戦いの日々を

Березы, березы,

白樺よ、白樺よ

祖国の白樺は眠らず

Родные березы не спят.

Неужто свинцовой метелью	鉛の銃弾が飛び交い
Земля запыляет окрест	辺り一面大地が燃え上がる
И снова в солдатских шинелях	再び軍服外套に身を包み
Ребята уйдут от невест?	若者等は婚約者の許を去る—
Березы, березы,	そんなことが起こるのか？
Родные березы не спят.	白樺よ、白樺よ
	祖国の白樺は眠らず

Я трогаю русые косы,	僕は亜麻色のお下げに触れ
Ловлю твой задумчивый взгляд.	物憂げな君の眼差しをとらえる
Не спят под Москвою березы,	モスクワ郊外の白樺は眠らず
В Париже капитаны не спят.	パリのマロニエもまた眠らず
Березы, березы,	白樺よ、白樺よ
Родные березы не спят.	祖国の白樺は眠らず

Березы, березы,	白樺よ、白樺よ
Родные березы не спят.	祖国の白樺は眠らず

白樺 BEREZY

【作詞】ラザレフ LAZAREV MILDON VLADIMIR JAKOVLEVICH

【作曲】M. フラトキン FRADKIN MARK G

【訳詞】(合唱団)白樺

【MIDI データ作成協力】Iwakichsky

1. 君の巻毛にふれ 愛を語るとき
そよ風にしらかば なにをかささやく
※ベリョーズィ ベリョーズィ
しらかばは眠らず
2. 思い出すあの歌 やさし春の歌
思い出すあの日々 戦いの明け暮れ
※(くりかえし)
3. 鉛の弾は飛び 大地は火の海
若者はいくさへ 愛を捨ていでゆく
※(くりかえし)
4. 君の巻毛にふれ 愛を語るとき
モスクワにパリに繁る 木々みな眠らず
※(くりかえし)

愛唱歌集にある関鑑子さんの歌詞(注:現在うたっている「白樺」の歌詞)

【訳詞】関 鑑子

1. 乙女の髪にふれ そのまなざしを追い
夜もすがらざわめく 葉ずれの歌きく
※白樺 白樺 何をわれにつげる
2. 白樺の歌は かの春の歌か
忘れ得ぬ戦いの きびし思い出の歌か
※(くりかえし)
3. 鉛の吹雪に 地上は焼けくずれ
若者は武器をとり 戦いにゆくか
※(くりかえし)
4. モスクワ郊外の白樺 夜もすがらめざめ
パリーのマロニエ眠らず 葉ずれの歌きく
※(くりかえし)

歌ごえはこころの旅 ロシア民謡・歌曲編

「白樺」 ロシア民謡 訳詩白樺合唱団

ロシア民謡と紹介していますが、この歌が作られたのは1959年ソヴィエト映画「平和の最初の日」の挿入歌として作られました。作詞者ヴィクトル・ラザレフ、作曲者マルク・グリゴリエヴィチ・フラトキンです。映画の舞台は1945年5月9日、ソ連軍が侵攻したドイツの小さな町で、終戦を迎えたソ連軍人たちのまわりで起きた平和になった最初の一日を描いています。劇中でソ連軍人がこの歌を歌いました《亜麻色のお下げに触れたとき 君は物憂げな瞳で見つめた あの夜更け白樺は 僕らの上でざわめいた 白樺よ 白樺よ 故郷の白樺は眠らず》と全く見知らぬ国へ行った兵隊たちは何を思っていたのでしょうか、この歌は戦争で他国で戦い 夜ともなれば夜空を仰ぎながら故郷の親や恋人を思い描きながら歌ったのでしょうかね。《ベリョーズイ ベリョーズイ 白樺は眠らず》良い歌ですね。

(注) 歌ごえはこころの旅 ロシア民謡・歌曲編は、「うたごえサロンへ! 「仲間の輪」ブログパートI」より参照しました。)